

「こえのもり しずおか」に寄せられた意見について(第2回目)

○全体登録者の内訳について

前回よりも全体登録者数に対する大学生・専門学生、29歳までの若者の割合は増加

区分	小学生 (低学年)			小学生 (高学年)			中学生			高校生			大学生 専門学生			29歳までの 若者			計		
	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減	1回目	2回目	増減
人 (名)	209	232	23	531	659	128	327	389	62	163	177	14	15	36	21	41	65	24	1,286	1,558	272
割合 (%)	16.2	14.9	△1.3	41.3	42.3	1.0	25.4	25.0	△0.4	12.7	11.3	△1.4	1.2	2.3	1.1	3.2	4.2	1.0	100	100	—

○意見分析

質問	内容										
次の計画名のうち、あなたが一番良いと思うものはどれですか	○回答結果 「しずおかこども幸せプラン」の投票数が最も多く、次点が、「静岡県こども計画」となる結果となった。										
	区分	しずおかこども幸せプラン	静岡県こども計画	静岡県こどもまんなか計画	ふじさんっこ幸せプラン	静岡県こどもまんなか計画	ふじさんっこまんなかプラン	計	割合		
	得票数	1	2	3	6	4	5				
	小学生(低学年)	3	2	1	1	0	0	7	4.2%		
	小学校(高学年)	35	10	7	8	8	7	75	44.7%		
	中学生	9	15	4	5	3	2	38	22.6%		
	高校生	6	2	2	4	1	1	16	9.5%		
	大学生・専門学生	1	2	8	0	2	1	14	8.3%		
	29歳までの若者	6	5	1	2	1	2	17	10.1%		
	属性なし	1	0	0	0	0	0	1	0.6%		
	計	61	36	23	20	15	13	168	100.0%		
割合	36.3%	21.4%	13.7%	11.9%	8.9%	7.8%	100.0%				

質問	内容							
「静岡県こども計画」の概要（骨子）について、意見や感想があれば教えてください。	1 全体意見数							
	区分	小学生（低学年）	小学校（高学年）	中学生	高校生	大学生・専門学生	29歳までの若者	計
	計	1	43	27	5	1	14	91
	割合	1.1%	47.2%	29.7%	5.5%	1.1%	15.4%	100.0%
	2 意見（意見数の多い課題に対する意見を抜粋）							
	区分	内容						
	小学生（低）	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく頑張ってください！応援します 						
	小学生（高）	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自分らしく幸せに生きることのできる社会はとても素敵だなと思いました！自分もいろんな声をあげようと思うので、頑張ってください。 ・自分自身が意見を書いた上で考えると、皆さんが考えた意見が正しいのではないのでしょうか、いろんな人が自分自身の意見を持っていいんだと思います。この意見には反対するけど逆にこっちの意見は賛成するなど皆それぞれ意見が分かれていますので今回上げられた骨子は良いと思います。 						
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・こえのもりプラットフォームのように気軽にアイデアを出し合える場を頻繁に設けてほしい。 ・子供中心というのはすごく良いと思います。結婚する人が減っているのは、自分達にとってメリットが感じられないからだだと思います。結婚するメリットなどを記載するとういと思っています。 						
	高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすく感じるための工夫や学生、若者の流出への対策を作るべき ・方向は良いと思います。そのまま具体策や財源について上手くまとめていけるとよいです。 						
大学・専門学生	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生からの意見も吸い上げてそれを国に繋いでいける様な環境を整えてほしい。 							
29歳までの若者	<ul style="list-style-type: none"> ・「ママ」「パパ」ではなく「お母さん」「父母」等の言葉を用いているところに好印象を持ちました。行政の制度名等においても「ママ」「パパ」はすっかり浸透していますが、ステレオタイプのニュアンスを感じて苦手な言葉です。このように感じる人がいることも知ってほしいです。 ・子どもは社会で育てるという意識や制度がもっと広がると良いと思います。家庭は千差万別ですが、どんな子にも信頼できる大人のいる安全で安心な場所で育つ権利があると思います。個々の家庭への責任が大きいと、子を持ちたい人は減る一方なのではないでしょうか。 							

質問	内容							
<p>1 回目の意見で皆さんが特に重要だと思っている問題（いじめ、自殺、児童虐待、居場所のない子ども、不当な偏見・差別、子どもの貧困）を少しでもなくすために、大人（県・市町・学校など）に「こんなことをしてほしい」という意見はありますか？小さなことでもかまいません。意見を自由に書いてください。</p>	1 全体意見数							
	区分	小学生（低学年）	小学校（高学年）	中学生	高校生	大学生・専門学生	29歳までの若者	計
	計	4	60	21	3	3	7	98
	割合	4.1%	61.2%	21.4%	3.1%	3.1%	7.1%	100.0%
	2 意見（課題別【抜粋】）							
区分	内容							
いじめ (28件)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したときに「そうだったんだね、大変だったね」と受け止めて話を「それはあなたに非があったんでしょ」とさげすまないで聞いてくれる場所・人がいてほしい。（小学生高学年） ・いじめられている子が相談できる所、いじめられている子の周りの人が相談できる所があれば、一つでもいじめは減らせると思います。（小学生高学年） ・いじめアンケートに本当は辛い思いをしていますが、書いた後の対応がよく分からないので、いじめのことを書くことが出来ない子供結構いると思います。それに書いても先生によって対応が違ったりするので、書いた後のことなどを見童に教えてほしいです。先生同士でも対応の仕方を決めて欲しいです。（中学生） ・いじめで一番の問題は「いじめられていることに気づかないこと」だと思う。まずはイジられたときに「これいじめかも？」と考えることが大切だと感じる。いじめとイジりの境界線をしっかりと分けてほしい（いじめの例を紹介するなど）（中学生） ・学校のアンケートでも、書くこと自体に目をつけられたりすることがあってあまり自分の本当のことを書いている人って少ないと思います。言ったとしても先生に信じてもらえず、しばらく学校に来れなくなった子がいたので、もっと大人に話しても大丈夫だと思えるような姿勢を大人側から作ってほしい。（高校生） 							
自殺 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から貸し出された端末で、学校や担任の先生などに、困ったことをメールで秘密に相談できるようにしたらいいと思う。（小学生高学年） ・自殺としてくくっても、その背景はそれぞれで異なり、必要な支援も一律でないと思う。それぞれのケースに寄り添って対応できる仕組みにして欲しい。（29歳以下の若者） 							

	<p>児童虐待 (2件)</p>	<p>・まず児童虐待について私は虐待そのものが無理です。児童だけだと生徒のことは良いのかと思ってしまうのでそここのところも考えてほしいです。(中学生)</p>
	<p>居場所のない子ども (5件)</p>	<p>・居場所がないと思っている子供が過ごせる居場所のようなものが欲しいです。また、個人の特性に合わせた対応がなるべくできるといいかなあとと思います。(高校生)</p>
	<p>不当な偏見・差別 (21件)</p>	<p>・障害を持っている(発達・学習など)人に対して差別的な言葉がよく聞こえます。(保護者も)そういったマイノリティの人たちに対しての理解が得られるような場を作ってほしい。(自主参加だとみんな行かないと思うので学校で保護者と一緒に授業とか)(小学生高学年)</p> <p>・いじめや自殺、不当な偏見・差別はまず学校などが理解してくれるといいんじゃないかなと思います。低学年とかの小さい子供にこのことを説明したってどうということか理解できないと思うのでまずは大人がしっかり理解してほしいです。(小学生高学年)</p> <p>・マイノリティの人たち(LGBTQや障害をもつ人たちなど)を理解しろとは言わない。気持ち悪いと思うのも多様性だし、多様性を認めろっていうのも矛盾してるから。でも声に出して他の人に言わないでほしい。(中学生)</p> <p>・同性愛者の同性婚をOKにしてほしい。(中学生)</p> <p>・マイノリティ(障害のある人、トランスジェンダー・同性愛、外国人)の人たちについて、当事者と実際に触れ合って学ぶ機会が必要だと思います。(大学生・専門学生)</p>
	<p>こどもの貧困 (5件)</p>	<p>・最近シングルマザー、シングルファザーなどの方々も増えています。そんな中1人の人が働いていてお金に困ることがあると思います。そんな時、友達と遊んでいて最近はお金を使って遊ぶ人も増えつつある中、お金に困っている人をいじめたりする人がいるのでそれを防ぎたい。(中学生)</p> <p>・私のような一般高校生が力になれることがあったらボランティアとしてどんどん呼んでほしいです。また、この問題だけにとどまらずボランティアの情報が一括でまとめられたサイト等がほしいです。(高校生)</p>
	<p>その他 (29件)</p>	<p>・学校の先生が違う性別の人だとなにかあっても話しにくいから男性と女性両方の先生がクラスにいてほしい(小学生高学年)</p> <p>・家庭で安心できないと、学校など外でのトラブルに繋がる。経済的な支援とともに、気軽に活用できる精神的な支援も充実させてほしい。また、せっかく用意されている支援が必要な家庭に届いていない場合もある。まずどこに相談すればいいのかをもっと広め、未然に防ぎたい。(29歳以下の若者)</p>

質問	内容								
<p>あなた自身が、または友達と一緒に特に重要な問題（いじめ、自殺、児童虐待、居場所のない子ども、不当な偏見・差別、こどもの貧困）を少しでもなくすためにできることは何だと思えますか？小さなことでもかまいません。意見を自由に書いてください。</p>	1 意見数								
	区分	小学生（低学年）	小学校（高学年）	中学生	高校生	大学生・専門学生	29歳までの若者	計	
	計	3	39	17	1	2	4	66	
	割合	4.5%	59.1%	25.8%	1.5%	3.0%	6.1%	100.0%	
	2 意見（課題別【抜粋】）※その他意見 2件								
	区分	内容							
	いじめ (32件)	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている友達がいたら、自分が負担にならないようにして話をきいて助けてあげる。自分の負担になると、自分も苦しくなってしまうから。自分の手に負えなかったら、大人に言う。(小学生低学年) ・一人で抱え込まないように相談できる窓口をつくる。作ったら、知ってもらえるように、アピールをする。誰が相談したか知られないように、窓口の人との一対一の関係をつくる。(小学生高学年) ・いじめは絶対にあってはならないことで、許してはいけないことだということを深く理解し、自分からいじめてはならない空気感をつくっていく。(中学生) 							
	自殺 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みがある人を見つけたら悩みの原因を解決できるようにできる限り手伝う。(小学生高学年) ・居心地のいい、過ごしやすい環境を作り、復帰できるように支えてあげること(中学生) 							
	児童虐待 (2件)	まず親に負担を掛けないことですかね。少しの不安やストレスで心が不安定になり怒りっぽくなってしまったり、やる気が失せてしまったりたくさん原因があります。なので少しでも親だけではなく大人の方全般に負担を掛けずに安心して暮らせるようにしたいです。(中学生)							
	居場所のない子ども (3件)	・居場所がないってことは親がいなかったり嫌われている子だから気づいたときに保護施設などに連絡してあげること(中学生)							
不当な偏見・差別 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観や考えなどを一方的に押し付けるのではなく、相手の考えなどを受け入れていくことが大事だと思います。(小学生高学年) ・1,自分がまず知識を蓄える2,自分がいじめや偏見・差別をしないようにする。3,自分が「相談できる人」の一人になる(中学生) ・他者を思いやって行動するのはもちろんですが、自分の知識不足や誤った先入観で他者を傷つけてしまわないよう、様々な思想、境遇について学び続けることが大切だと思います。(29歳までの若者) 								
こどもの貧困 (3件)	・募金をする！！あと、例えばお菓子を買ったらその利益の半分が子供たちのご飯などに使うみたいなのをやったらいいと思います！(小学生高学年)								

家族・友達関係・学校・生活のことで悩んだ時や困った時に、よく相談する相手は誰ですか？

○回答結果

良く相談する相手の得票数は、母親、学校の友達、学校の先生が多い結果となった。

区分	母親	学校の友達	学校の先生	父親	その他	兄弟姉妹	学校以外の友達	祖母	学校、職場の先輩	その他親戚(いとこ等)	県や市町の相談窓口(専門家窓口)	祖父	こども食堂 学習支援教室のスタッフ等	計	割合
得票数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12		
小学生(低学年)	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7	2.7%
小学校(高学年)	46	33	17	14	5	5	4	4	0	2	1	0	0	131	51.0%
中学生	10	14	4	5	6	2	3	0	1	0	1	1	1	48	18.7%
高校生	9	8	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	24	9.3%
大学生・専門学生	6	5	2	0	0	3	1	1	1	0	0	1	0	20	7.8%
29歳までの若者	7	2	0	4	2	2	1	1	1	0	0	0	0	20	7.8%
属性なし	0	3	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	7	2.7%
計	80	66	28	27	14	13	9	6	5	3	3	2	1	257	100.0%
割合	31.1%	25.7%	10.9%	10.5%	5.4%	5.1%	3.5%	2.3%	1.9%	1.2%	1.2%	0.8%	0.4%	100.0%	

家族・友達関係・学校・生活のことで悩んで、相談先に助けを求めたり、知りたいことを調べたいと思った時に、どのように調べますか？

○回答結果

情報サイトやアプリを通じて、調べるこども・若者が多数を占める結果となった。

区分	情報サイトやアプリ	その他	Youtube	県や市町のHP	テレビ	X	Instagram	新聞	Facebook	計	割合
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
小学生(低学年)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	1.5%
小学校(高学年)	32	19	14	10	9	6	3	1	0	94	45.2%
中学生	22	8	11	4	7	3	3	0	0	58	27.9%
高校生	6	1	2	4	1	1	1	3	0	19	9.1%
大学生・専門学生	6	0	1	3	1	0	2	1	0	14	6.7%
29歳までの若者	4	0	1	3	2	3	1	3	0	17	8.2%
属性なし	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	1.4%
計	70	32	30	24	20	13	10	9	0	208	100.0%
割合	33.7%	15.4%	14.4%	11.5%	9.6%	6.3%	4.8%	4.3%	0.0%	100.0%	

